

## まえがき

本書は、広島大学地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会、それに日本計画行政学会中国支部との主催で、平成8年1月の23日と24日の両日、広島市中区の八丁堀シャングにおいて「広島は何をなすべきか―次期全総への提言―」をテーマに開催しました第8回研究集会の報告書です。

今回のような研究集会は、地域経済研究センターが平成元年に創設されて以来、毎年1回開催して参りましたが、本年度はこれまでとは違って2回開きました。その第1回の研究集会は、昨年の11月9日と10日の2日間、松山市で開催しました。それはこうした研究集会の意義と重要性を認められた愛媛大学の柏谷教授など、四国側の有識者の方々のご要請にお応えするものでした。この松山集会は、四国の方々から大変なご賛同を賜りました。年一回開催予定の研究集会はこれで終わったことになりましたが、しかし共催をして頂いた地域経済研究推進協議会のメンバーのほとんどの方は広島の方であり、松山集会には必ずしもご出席頂けなかったことを反省し、本年度もう一度広島で開催することにしました。それが今回の研究集会です。

それに今回の研究集会は、従来の主催に加えて日本計画行政学会中国支部（支部長・櫛本功、事務局・広島大学地域経済研究センター）にも主催の一員として加わって頂きました。日本計画行政学会中国支部はかつては中国5県で、最近では山陽3県の持ち回りで毎年研究集会を開いてきましたが、本年度は広島で開催する順番でしたし、研究集会の目的もほとんど同じですから、同時に開催することになりました。

今回の研究集会もこれまでのように2日間にわたって開催しました。初日は、基調講演と相互討論会を行い、2日目は、中国および四国地域を代表する5つの民間シンクタンクから、地域経済に関する研究をご報告頂きました。

初日の基調講演は、橋口収広島商工会議所会頭と矢田俊文九州大学教授のお二人にお願いし、広島の将来について地元から橋口会頭に、他地域から矢田教授にご講演を頂きました。このご講演に続いて司会役の私も加わってお二人に相互討論をして頂きました。橋口会頭はかつて国土庁事務次官を努められ、また矢田教授は国土審議会計画部会専門委員会委員長代理で、お二人とも国土計画の専門家であり、実に活発な議論・討論が展開されました。

研究集会の2日目は、中国地方を代表する4つの民間シンクタンク、それに四国地方の代表的なシンクタンクである(株)いよぎん地域経済研究センターから、地域経済に関する

る研究をご報告頂き、それぞれ予定討論者と活発なご討論を賜りました。さきの松山集  
会で四国4県からそれぞれを代表する民間のシンクタンクに、中国地方の民間シンクタ  
ンクが加わって、研究交流を致しましたが、中国地方それに四国地方の両地方で大学と  
民間のシンクタンクの交流の機会が増加し、地域経済研究のネットワークが形成されつ  
つあることは、当地域経済研究センターの設立当初の目的の一つが次第に達成されつつ  
あるように思えて、自ら感激しているところであります。

地域の皆様方のご協力により、研究集会には初日130名、2日目40名に上る多数の方々  
のご参加を賜り、極めて有意義な成果をあげることができました。

本書を作成するにあたり、基調講演と相互討論をお願いした橋口会頭と矢田教授、そ  
れに座長、研究報告者および討論者の方々、その他関係各位のご協力を深く御礼申し上  
げます。

平成8年3月

広島大学経済学部附属  
地域経済研究センター長 櫛本 功